

第38回南部忠平記念陸上競技大会兼第98回北海道陸上競技選手権大会競技

〈 やりの持ち込みについて 〉

下記のとおり、検査に合格して持ち込みを許可されたやりは、「預り証」を発行のうえ一括借り上げとなり、参加競技者で共有できるものとする。

今大会のやり投げについては、WRKの申請を行っています。持ち込みの「やり」については、WA及び日本陸連が承認する「やり」に限ります。(その際、証明できる書類も持参すること)

「やり」については、通知した競技場備え付けの投てき用具リストに無いもの及び、複数本無いやり限り、当日検査の上使用を認める。希望者は招集開始時刻1時間前から招集開始時刻まで(混成競技は競技開始の1時間前まで)に、器具庫(スタート側)にて「やり検査申請書」により申し出ること。ただし、検査に合格した「やり」については、「預り証」を発行のうえ一括借り上げし、参加競技者で共有できるものとする。借り上げた「やり」は、その選手を含むラウンド(予選1組または予選2組または決勝)の競技終了まで競技場で預かる。そのラウンドの競技終了後に器具庫(スタート側)で返却する。なお、借り上げたやりが破損しても責任を負わない。

1 検査時間

第1日目 7月12日(土)

女子やり投決勝	8:20 ~ 9:20	競技開始 11:00
男子やり投決勝	12:20 ~ 13:20	競技開始 15:00

第2日目 7月13日(日)

女子七種競技 やり投	競技開始 1時間前
男子十種競技 やり投	競技開始 1時間前

2 検査場所 競技場用器具庫(スタート側)

3 手順

- ① 所定の時刻までに検査(申請)場所にやりを持参する。
- ② 申請書を記入(予め記入したものを提出するの可)→「預り証」を受領する。

※申請書は釧路地方陸上競技協会HP「北海道選手権+南部記念陸上のページ」「やり検査申請書」でダウンロードしておく。

- ③ 「合格」の場合、預かり証を受領する。借り上げたやりは競技用具と同じく配置する。
- ④ やりの返却について

競技終了後、器具庫にて「預り証」と引き換えに返却

混成競技に出場の場合「やり投」終了後、用器具庫にて「預り証」と引き換えに返却

※借り上げたやりが破損した場合について、主催者側は一切の責任を負いません。